

2. テーマ 医療的ケア児について

〈受講日程 令和3年11月11日〉

参加者

新美保博／嶋崎昌弘／水野尚美
伊藤正興／國弘秀之／坂井美穂
加藤美幸／中川健一



▲出生時の医療的ケア児、健常児の違いを人形で体感

講師

社会福祉法人むそう理事長
戸枝陽基氏
半田市医療的ケア児等コーディネーター
間瀬小夜子氏

学んだこと

- ・ 0歳から脳の発達保証が必要であるため療育環境の充実と、保護者の精神的、身体的負担の軽減など継続的な支援が必要。
- ・ 生まれ育つ地域で、同世代の子どもと共に育ち合える環境整備が必要。
- ・ 出生時の医療的ケア児(約500g)と健常児(3,000g)の違い(大きさや重さ)を人形で体感し、命の大切さを実感した。
- ・ 医療的ケア児及びその家族に対する支援法の目的に、「家族の離職防止」も明言されているため、その支援も必要。

半田市に活かせること

- ・ 予定されている半田中学校区において、拠点となる園・小学校・中学校の連携により、継続的な学びと育ちの保証を実現する。
- ・ 家族の離職防止に対する伴走的支援。
- ・ 医療的ケア児と共に過ごす、園児・児童・生徒及びその保護者に対する啓発、併せて保育者・教育者の現場研修の実施。
- ・ 早急な看護師の確保及び看護師派遣事業の充実。

3. テーマ 【1】市町合併について(高松市)、【2】水道事業の広域化について(香川県)、【3】文化・芸術による地域づくりについて(香川県)、【4】子育て支援施設の内容や他施設との複合化について(高松市)

〈視察年月日 令和3年11月16日～18日〉

参加者

新美保博／嶋崎昌弘
加藤美幸／中川健一



▲視察の様子

視察先

高松市役所
香川県広域水道企業団
瀬戸内国際芸術祭実行委員会事務局
高松市子ども未来館

学んだこと

- 【1】市町合併 10年間で合計約301.5億円の経費削減ができるとのこと。
- 【2】水道事業の広域化はまず10年間は各自治体ごとの水道事業ごとに経営し、サービスのデコボコを一定基準の範囲に調整するとのこと。
- 【3】瀬戸内国際芸術祭2019は、総来場者数約118万人、地域経済への波及効果は180億円であった。
- 【4】子育て複合施設の中で子どもたちは行ったり来たりして1日過ごす。

半田市に活かせること

- 【1】市町合併について、早急に市町合併に着手すべきである。
- 【2】水道事業の広域化については人口減少に伴う需要水量の減少などにより広域化は必須と考える。早急に2市3町で広域化を目指す。
- 【3】文化・芸術による地域づくりを半田市も着手すべきである。
- 【4】子育て支援施設の内容や他施設との複合化を推進すべきである。クラシティ、赤レンガ、地域文化広場など新たな活用方法を見直してはどうか。